

2G 2020301040 佐藤愛香音

小山内ゼミ

レコードについて

動機

私はレコードに興味を持ち、レコード屋で働いています。

今はレコードが再ブームという形で少しづつ流行りになって来ています。

私の店にも若い人が結構来店されます。

そこでレコードについてもっと知識をつけて、人に勧められるようになりたいと思いこの研究をすることにしました。

目次

1・レコードそのものとは？

2・レコードの歴史

3・レコードの店について(店頭に商品が並ぶまでに何をしているか)

4・レコードの傷について

5・レコードの値段の付け方

6・高額盤について

7・レコードの再ブーム

8・レコードで聴く理由 メリット / デメリット

9・レコードを始めるなら

10・個人的おすすめレコード紹介

11・まとめ

研究方法

・インターネット

・実体験

・先輩の意見

研究内容

1. レコードそのものとは？

アナログレコードは、「レコード」や「アナログ盤」と呼ばれるほか、作られる材質に由来して「ビニール」や「バイナル」（Vinyl）などとも呼ばれます。CDは音をデジタル化してディスクに記録させているのに対して、アナログレコードは盤面の溝（音溝）に音の振動を掘って記録させ、その音溝にレコード針をあて、電気信号に変換することで音楽を再生しています。

レコードは主に3種類あります。SP・LP・EPと呼ばれます。

- SPはStandard Playの略
- EPはExtended Playの略
- LPはLong Playの略

SPレコードはレコードが誕生した頃の初期のレコードです。収録時間は直径が10インチ（25cm）で片面3分、12インチ（30cm）で片面5分程度になります。

その次に登場したのがLPレコードとEPレコードです。技術の進化により、LPレコードはSPレコードと同じ直径12インチ（30cm）に片面25分程度録音することができるようになりました。EPレコードは直径7インチ（17cm）に片面に5～8分程度録音することが可能で、2～3曲収録されていました。

その他にもシングルレコードや12インチシングルレコード、ドーナツ盤、フォノシートなど様々な種類がレコードがあります。

そして、回転速度です。

SPレコードは1分間に78回転と回転速度が早いです。また、モノラルでの録音が主流でした。1960年代まで製造されていましたが、今ではほとんど製造されていません。

LPレコードは1分間に33 1/3回転するため、別名33回転盤とも呼ばれています。

EPレコードは1分間に45回転とSPレコードよりも遅く、EPレコードよりも早い回転数になります。

その他にもシングルレコードや12インチシングルレコード、ドーナツ盤、フォノシートなど様々な種類がレコードがあります。

レコード	サイズ	収録時間	回転数
SP	10インチ	片面3分	78回転
SP	12インチ	片面5分	78回転
EP	7インチ	片面5分～8分	45回転
LP	12インチ	片面25分	33 1/3回転

2. レコードの歴史

レコードの歴史を遡ると、発明王エジソンが1877年にフォノグラフを開発して以来、グラモフォン、ぜんまい式の蓄音機から定速回転できる電気式蓄音機へと進化していきました。また、世界初の録音・再生の公開音源は、「フォノグラフ」を発明したエジソンが自身の声で録音したとされる「メリーさんの羊」といわれているようです。レコードやCD, DVDなど各種メディアの最大の特徴とおもわれる円盤式のフォーマットを作り上げたのも1887年の頃となります。後にSP (Standard PlayingまたはStandard Play) レコードと呼ばれる78回転盤から、第二次世界大戦後1940年代頃の化学技術の進歩により作られ普及されていったものがポリ塩化ビニールを用いたビニール盤(ヴァイナル)となります。

3. レコード店について

レコードはお店に売り出されるまで、沢山のする事があります。まずは査定です。

査定において評価の対象は何もレコード盤の傷の有無だけではありません。歌詞カードや帯は無くしたり傷めやすいものなので、どちらも綺麗に残っていれば当然査定額が高くなります。また、購入時に付属していたはずのステッカーやポスターのような特典がまだ残っているものであれば、より一層高い値段で取引がされます。

そして次は、店舗に合うレコードを区別します。また、通販サイトや、フリマサイトも運用している際はそちらも区別をします。

今回は店舗の流れについて紹介します。

店舗に流れてきたレコードをクリーニング・金額を設定しやっとお店に出すことになります。

・クリーニング

長く保管されていたレコードがほとんどなので埃や汚れを被っていることが多いです。それをなるべく綺麗になるようにクリーニングを行います。しかし、レコードはとても傷みやすいので精製水とタオルだけで綺麗にします。勿論、取れない汚れは多くあります。しかし店頭に出すものでお客様が触る物になるので出来る限りジャケット、帯、インサート等、盤を綺麗にします。

4. レコードの傷について

クリーニングを終えると盤の傷や汚れが見やすくなります。その後、値段を設定する為に盤のコンディションを確認します。

レコードの盤はとても傷つきやすいです。少し爪を立てて触っただけでサラッと傷ができてしまいます。

盤の傷、汚れには種類があります。

よく言われるのは「盤キズ」「盤スレ」「盤ヤケ」「反り」です。

・盤キズ

主に針で傷をつけてしまうことが多いです。針を落とす際や聴き終わってあげる時に横にズレてしまい傷がついてしまいます。

そして、音に影響が出やすいです。ノイズが入ってしまったり、深い傷だと針飛びをしてしまう可能性があります。

・盤スレ

これは1番ふとした時に付きやすいです。爪を立てて触ってしまうと簡単にスレができるてしまいます。また、これも針でスレが出来てしまうこともあります。中古のレコードだと大体スレは見つかります。深くなればスレはあまり音に影響はありません。

・盤ヤケ

レコードは熱に弱く、熱い場所の上に置いたり日当たりの良い所に置いてもビニールが焼けてしまい盤面が白く変色（変質）してしまうのですが、その部分は「サー」という大きめのノイズが発生してしまい、リスニングへの影響は大きなものとなります。

・反り

レコードの反りは一般的にワープと言われています。外部からの熱や、なんらかの外的負荷がかかることによって歪みが発生してしまうのです。反りや歪みが生じてしまうとレコードプレイヤーで再生したときに音飛び、歪みによる音程の変化が起き、再生不可（もしくは本来の音楽が再生出来ない）状態になります。治す機械はあるものの、治せない歪みのついてしまったレコードも多いです。

5. レコードの値段の付け方

傷等を確認したらレコードに値段を付けていきます。盤だけで無く、ジャケットや帯、インサートなどの付与物の状態や有無も値段に大きく影響します。

主な値段は今までの履歴、通販サイトや他店舗、オークションなどの相場から値段を付けていきます。新品と違って中古は値段が確立されていない為一つずつ丁寧に値付けをしていきます。

そして、初盤か再発盤かの違いはとても大きいです。レコードは最初にプレスされていればいるほど音が良いと言われています。音以外にも初盤は貴重な帯や限定品などがあります。その為、再発盤だととても手頃な値段なのに初盤になると何万円にもなることがあります。

しかし、初盤で貴重な一枚で、相場も高いのに傷やヤケで大幅に値段が落ちることもあります。

それはを配慮し、私たちレコード店で働く人は値段を1枚1枚考えていきます。

6. 高額盤について

先程も説明した初盤やレア度が高く相場の値段が高いものは高額盤と呼ばれます。1万円以上だと高額だと言われることが多いです。

私が今まで目にしたもので1番高かったものは

布谷文夫／悲しき夏バテです。金額は500,000万近くありました。

レコードは1000円以内で買えるものが沢山ありますが、プレミアの物だととても値段が跳ねます。これは、服でも何でも同じような原理です。出した枚数が少なかつたり、再発との違いが大きかったりするとレア価値が付き金額が大きくなります。

7. レコードの再ブーム

近年、レコード人気が再燃しているのをご存知ですか？アナログの音質には温もりがあるといわれますし、物として持っている喜びも与えてくれます。初めて買って聴いてみようと、レコードを探す初心者の方を近頃レコード店でもよく見かけるようになりました。インターネット、CDが普及する中で1990年代になると一旦はレコードは生産されなくなっていました。ところが、その後、90年代後半にはDJ人気のためにレコードが部分的に復活、そして2010年前後からは世界的にジワジワと人気が拡大しています。

8. レコードで聴く理由 メリット / デメリット

インターネット、スマホでボタン一つでそして無料でも音楽聴けてしまう時代に何故アナログレコードが再ブームしているのかまとめていきます。

・メリット

1. 音質が素晴らしい

CDには人間が聴こえないとされる周波数は収録されていない反面、レコードにはその範囲の周波数が記録されているとのことです。レコードに記録されている音はCDよりも表現力が豊かで、実際の演奏に近いと言われています。

2. 手間をかける大切さ

検索するだけで簡単に音楽が聴けるインターネットとは対照的に、レコードで聴くには様々な物が必要です。しかし、そうは言っても決して手間ばかりではないのです。スマホでタップひとつで音楽を再生・停止するのとは違い、レコードであればプレーヤーの前で全部聴き終わるまで座っていたりします。物理的にも気持ち的にも音楽と真正面から向き合える良さがあります。

3. 音楽に触る、所有できる

アルバム作品であるLPであれば約30cm、シングル盤である7インチであれば約18cmの大きさです。大きなアートワーク（ジャケットデザインのこと）はやはり見た目にも華やかで、プレーヤーを持っていなくても部屋の壁に飾っている方もいるほどです。また、ジャケット裏面には解説（ライナーノートという）が載っていたり、解説書・歌詞カードが付属しているものもあります。当時のレコーディングの背景を窺い知れる貴重な解説をじっくりと読むことができます。

例えばですが、このようなメリットや良い所があります。と言っても、世界中のみんながレコードに移行しているわけではありません。その理由のデメリットも紹介していきます。

1.場所を取る

レコードはCDに比べてとにかく大きいです。レコード1枚=CD4枚分くらいあります。レコードは丁寧に保管をしなければいけないので多ければ多いほど保管場所も必要になります。レコードそのものだけで無く、プレーヤーも必要になるのでその分また場所を取ることになってしまいます。

2.消耗品である

レコードは、盤面上の溝を針がなぞることで音を出します。溝と針という物理構造なので、どうしても聴けば消耗します。うまく針が溝を通らないと、プツッという音飛びが発生したりしてしまいます。その際、聴けなくなってしまう場合もありまた購入しなければいけません。

3.手間がかかる

メリットではその大切さを紹介しましたが、手間がかかることは間違いありません。購入したレコードには指紋が付いていたりカビで汚れていたり、聴く前にある程度のクリーニングが必要なものもあります。聴くときもジャケットから取り出して、終わったらまたしまわなければなりません。A面が終わりB面を再生するには、レコード盤をくるりとひっくり返します。手で持つ際にも盤面にキズが付かないよう丁寧に扱わないとなりません。

このようにメリットもあり、デメリットもあります。

9.レコードを始めるなら

それでは、レコードを楽しむにはどんなものが必要になるのでしょうか。

- ・プレーヤー（ターンテーブル）
- ・レコード針とカートリッジ
- ・フォノイコライザー
- ・アンプ
- ・スピーカーもしくはヘッドホン

主に必要なものはこちらになります。

全部揃えるとなるとお金も時間もかかってしまいます。

しかし、最近はレコードプレーヤーとアンプ、スピーカー一体型のモノが売られています。金額も比較的安価で1万円弱で買うことができます。その分、音質は下がりますが初心者ならこれで十分なほど良く出来ています。また、インテリアアイテム要素取り入れたものも沢山あります。レコードプレーヤーは不恰好であまり置きたくないと言う方におすすめのお洒落で一台で聴けるモノもあります。

まずは安価でいいのでレコードプレーヤーを買い、流したい1枚を選んでみましょう。

10.個人的おすすめのレコード

ジャンルに分けて一枚ずつおすすめを紹介していきます。

- ・和モノ

角松敏生 / GOLD DIGGER ~with true love~

角松敏生のこのアルバムはサブスクにも出ていない為、貴重な一枚です。これを聴かずにして死ぬことはできません。80年代とは思えないほど新しい音の使い方で1曲目から圧倒されます。エレクトロ好きな方には是非！の一枚です。

- ・SOUL

マーヴィングレイ / I WANT YOU

湿度の高い大人の色気。ずっと憧れでもある1枚です。説明がしづらいですが、本当にいつ聴いても色褪せない音楽だと思います。SOULの中でも代表作と言っていいほどの大名盤です。

- ・ROCK

POLICE/ Synchronicity

アルバム全体は一度聴き始めたら止めるのが惜しくなるほどになめらかにつながっています。映画を1本観たかのような満足感があります。聴けば聴くほど味が出る最高の名盤です。

私は近年モノが好きなので、あまり詳しくはないですがそんな私でもお勧めできる3枚です。

11.まとめ

レコードは沼だなとより一層思いました。

収集したくなるような良い所が沢山あり、傷付きやすく丁寧に扱わなければいけない為時間と労力をかけて音楽を聴く楽しさを知ることができました。

私はインターネット(サブスク)、CD、カセットテープなど様々な方法で音楽を聴いてきましたが、レコードが1番音楽の楽しさを教えてくれると思いました。

レコードについても今までよりもずっと知識がつきました。

この研究を通して、レコードにもっと近い距離になれたかなと思いました。

この研究を活かして、日常にもバイト先でもレコードで音楽を聴いていきたいです。